

## 【ゴム輪受口の施工手順】

- (1) HT伸縮ソケットのゴム輪が溝からはずれていない事を確認してください。
- (2) 挿入する管の端部を面取りしてください(面取り幅は下表を参照してください)。
- (3) 管に標線を記入してください(管端部からの標線位置は下表および図3を参照してください)。記入後、図1のように標線部分に吊バンド、または床バンドを取り付けて挿入すると便利です(バンドが当たるまで挿入します)。

**ご注意: バンドは挿入後に必ずはずしてください。**

- (4) ゴム輪の表面および管の先端に専用滑剤「Vスプレー」を塗布します。
- (5) HT伸縮ソケットへ管を挿入し、標線がHT伸縮ソケットの受口端面まで入ったところで止めます(挿入困難な場合は挿入機をご使用ください)。
- (6) HT伸縮ソケットを支持金具(立てバンド等)で支持・固定します。  
支持・固定位置は図2を参照してください。支持・固定の際は、HT伸縮ソケットが壁面および床面に接触しないように施工してください。

## 【施工上のご注意】

- ・給水・給湯用途など圧力の加わる配管にはご使用できません。
- ・最高使用温度は90℃です。それ以上の温度ではご使用できません。
- ・**必ず専用滑剤「Vスプレー」をご使用ください。**Vソープや接着剤、油、グリスは、伸縮性能の阻害やゴム輪の損傷を引き起こす恐れがありますので絶対に使用しないでください。
- ・挿入および伸縮時にゴム輪が損傷する恐れがありますので、管端から標線を超えて75mmまでの区間で管表面にキズがある場合は、その部分を除去して施工してください。
- ・屋外露出配管となる場合には、直射日光による管の劣化を防ぐために、耐候性塗料の塗装や防護カバーを付けるなどの対策を行ってください。

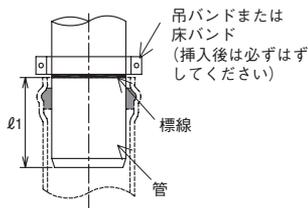
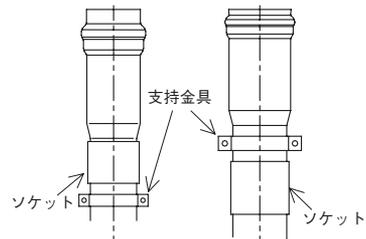


図1 吊(床)バンド使用による挿入例



① 呼び径50の場合  
② 呼び径75, 100, 及び125の場合

図2 支持・固定位置

表 標線位置, 面取り幅, 伸縮代		単位(mm)			
呼び径	50	75	100	125	
$l_1$ (標線位置)	100	140	120	165	
c (面取り幅)	8	11	13	15	
$e_1$ (収縮代)	20		45		
$e_2$ (伸長代)	31		79		
伸縮ソケット一個が受け持つ管路長	4m		12m		

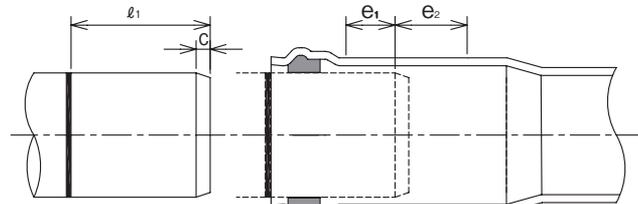


図3 標線位置, 面取り幅, 伸縮代